

第 3 章

全体構想

- 1 都市の将来像
- 2 都市づくりの方向性
- 3 都市づくりの目標
- 4 将来の都市構造
- 5 土地利用の方針
- 6 道路交通網の整備方針
- 7 公園・緑地の整備方針
- 8 河川・下水道の整備方針
- 9 景観形成の整備方針
- 10 安全・安心な都市づくりの整備方針

第3章 全体構想

1 都市の将来像

塩尻市都市計画マスタープランの都市の将来像は、第四次塩尻市総合計画に掲げる都市像「ともに築く 自立と創造の田園都市」とし、地域の特性をいかした「質の高い生活」を、市民、企業、行政が一体となって創造し、安全、安心、快適さを実感できる、だれもが住みやすいまちを目指すものとします。

■塩尻市都市計画マスタープランにおける都市の将来像

ともに築く 自立と創造の田園都市

2 都市づくりの方向性

第四次塩尻市総合計画における都市づくりの方針、前述の都市づくりにおける課題、さらに策定委員会からの意見、アンケート結果等を踏まえ、今後の都市づくりの方向性を以下に整理します。

都市・農山村・ 自然が調和する 機能的で活力の ある都市

本市の特性である豊かな自然・歴史・文化・美しい田園景観を背景として、活力ある産業を営み、余暇や保養を楽しみ、良好な環境で居住するという生活の豊かさを真に実感できる、都市・農山村・自然が調和する機能的で活力のある都市を目指します。

人にも 環境にもやさしい 持続可能な 都市

市民の「機能的で生活しやすいまち」とともに「自然環境が保全された美しいまち」を望む傾向を背景に、あらゆる世代が生活しやすい都市と、豊かな自然環境や景観に配慮した都市とが両立する持続可能な都市を目指します。

パートナー シップで築く 個性豊かな 都市

市民の「地域のボランティア活動への参加」や「自分の住んでいる地域のまちづくりへの参加」などまちづくりへの意識の高まりを背景に、地域住民の主体的なまちづくりの推進によって、地域への愛着と誇りを醸成していくとともに、パートナーシップで築く個性豊かな都市を目指します。